

歴史の道を歩く！江戸時代のノツケ～野付通行屋跡・番屋跡遺跡

- と き 令和7年4月20日（日）午前9時15分～13時
- と ころ 野付半島ネイチャーセンター、野付通行屋跡・番屋跡遺跡
- ガ イ ド 別海町郷土資料館 石渡一人 近藤信宏
- 参 加 者 14名

はじめに野付半島ネイチャーセンターで30分ほどレクチャーを行いました。野付通行屋が設置された背景、現地に残る痕跡、古文書資料に描かれたノツケの風景、平成15～17年度に行われた野付通行屋跡遺跡の発掘調査など、野付半島先端部で江戸時代に生活の営みがあったお話をしました。

その後、野付通行屋跡遺跡入口まで車で移動し、そこから約2km歩きました。遺跡では、墓石、建物跡、畑の畝跡などを実際に見学しました。海岸沿いに陶磁器や金属製品などが落ちていたことから、参加者は、江戸時代の様子を思い描いていたようです。

（写真提供：別海町地域おこし協力隊員 大谷義彦さん）

●参加者の感想

- ・アイヌなどの歴史をより深く理解でき大変有意義な機会でした。
- ・あいにくの天候であったが、通行屋遺跡について理解を深めることができた。
- ・初めて通行屋に行けて良かったです。ありがとうございました。
- ・事前の講義があったので現地を楽しめた。江戸時代のイメージが広がった。
- ・雨でしたが気にならないほど楽しかったです。ありがとうございました。
- ・見たかった野付の通行屋跡を見れて良かったです。ありがとうございました。
- ・なかなか行けない所に行けて面白かったです。通行屋の本体が見つかったらまた、行きたいです。発掘ができるように。
- ・初めて野付半島に来ましたが大変丁寧に解説くださったおかげで、歴史について詳しく知ることができました。また、天気の良いときに再び来訪したいと思います。
- ・個人ではいけないところへ連れて行っていただきありがとうございます。鉄の破片、かめなども見られてタイムスリップしたようなとてもよい経験ができました。ありがとうございました。

